

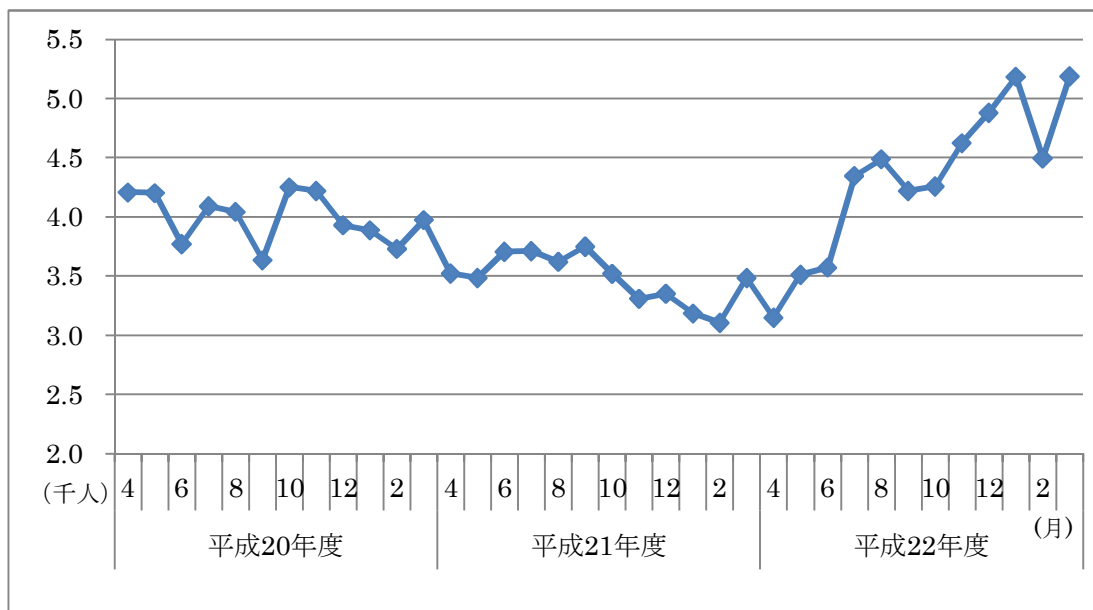
第2章 病院の現状

1. 入院状況の推移

(1) 患者数

1か月当たりの入院患者数の推移について、平成20年度から平成21年度にかけて減少傾向が見られるものの、平成22年7月からは増加傾向を示しています。

これは、一般病床において、平成22年10月の療養病棟の開設に向けて患者の受け入れを開始したことによるものです。



(2) 稼働病床数

一般病床については、平成20年度は221床、平成21年度は189床でありましたが、答申に基づき、平成22年10月に一般病床189床を130床にするとともに、療養病床を60床開設し、合計190床としました。

その後、平成23年3月には入院患者の増加に伴い、一般病床の稼働病床を13床増やして143床としました。

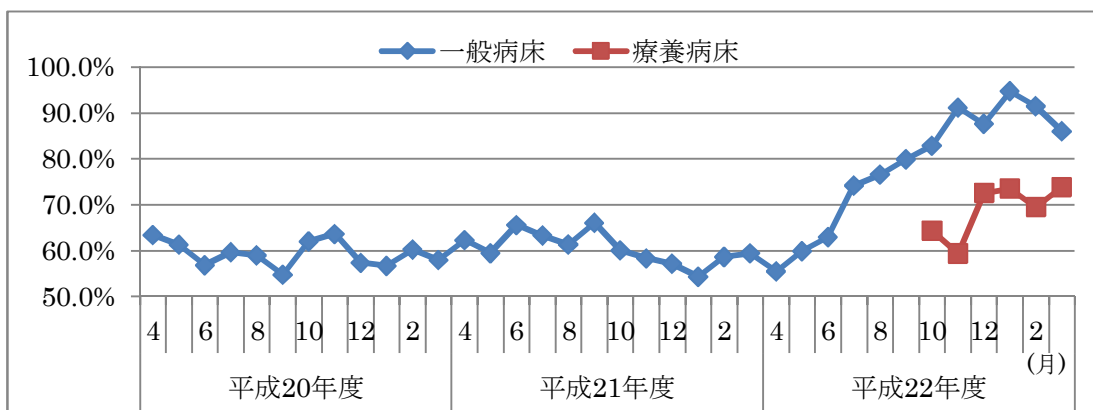
(単位：床)

	H20	H21	H22									H23		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般病床	221	189	189	189	189	189	189	189	130	130	130	130	130	143
療養病床	—	—	—	—	—	—	—	—	60	60	60	60	60	60
病院全体	221	189	189	189	189	189	189	189	190	190	190	190	190	203

(3) 病床利用率

一般病床利用率について、平成 20 年度からは低い利用率で推移していますが、平成 22 年 7 月からは、かなりの上昇傾向を示しています。

これは、一般病床において平成 22 年 10 月の療養病棟の開設に向けての患者の受け入れを行ったことによります。



2. 外来患者数の推移

外来患者数については、各年度とも内科の利用者数が最も多く、続いて整形外科、外科、脳神経外科となっています。

平成 22 年度の外来患者総数は、平成 20 年度比 12.5%の減少となっています。

(単位：人)

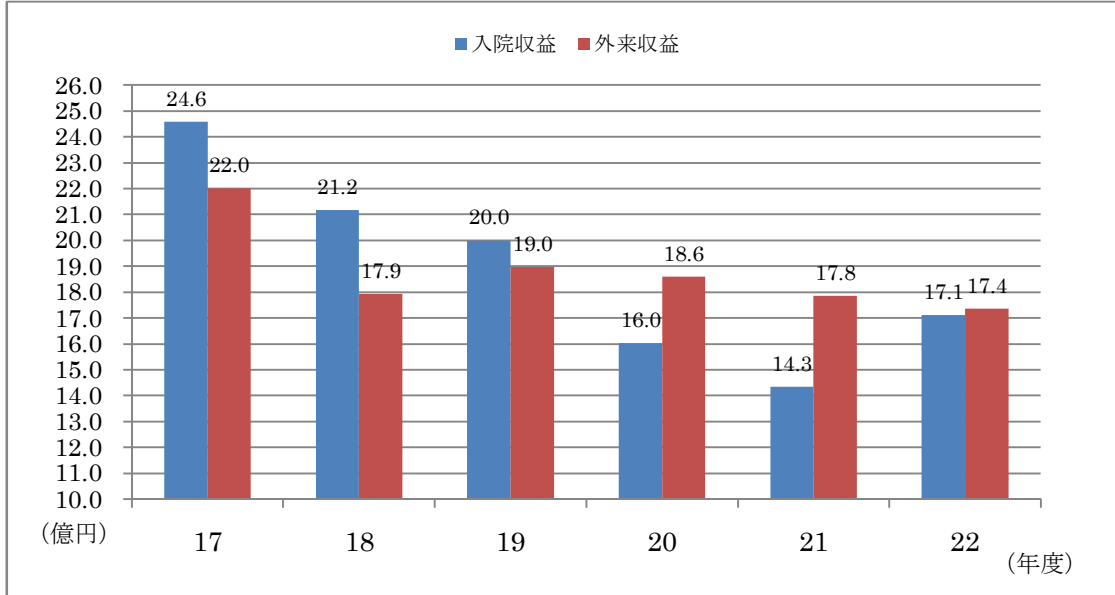
診療科	H20	H21	H22	増加率 (H20→H22)	備考
内科	33,516	35,444	35,560	6.1%	
整形外科	19,356	14,418	13,822	△ 28.6%	H20 年度末をもって、常勤医師が 2 名⇒1 名に。
外科	15,008	12,576	12,054	△ 19.7%	
脳神経外科	10,995	10,259	9,519	△ 13.4%	
小児科	7,598	8,625	7,474	△ 1.6%	
眼科	7,695	6,989	6,704	△ 12.9%	(平成 23 年 4 月から休診)
皮膚科	5,285	6,227	6,145	16.3%	
透析センター	6,009	4,679	4,636	△ 22.8%	
耳鼻咽喉科	4,970	4,583	3,974	△ 20.0%	
神経内科	1,628	1,642	1,615	△ 0.8%	
産婦人科	503	862	1,497	197.6%	H22 年度から常勤医師が勤務。外来診療、週 2~3 日⇒週 5 日。
泌尿器科	6,410	2,843	1,430	△ 77.7%	H21.7 末で常勤医師 1 名⇒0 名。外来診療、週 5 日⇒週 2 日。
呼吸器内科	798	654	404	△ 49.4%	
計	119,771	109,801	104,834	△ 12.5%	

※主要な診療科を抜粋（なお、人数にはワクチン接種等を含む。）

3. 収支状況

平成 17 年度から平成 21 年度までの収益状況について、外来、入院とも減少傾向ですが、入院収益については、平成 22 年度には改善されています。

このことは、「1. (1) 患者数」における患者数の増加によるものです。



入院収益の増加に伴い、平成 22 年度には実質収支も改善されています。

なお、平成 19 年度の実質収支が改善されているのは、費用面において、医師、看護師の退職による給与費等が減少したことによるものです。

